



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社  
 コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	85,428	12.7	9,032	9.9	9,152	8.1	6,517	5.0
30年3月期第1四半期	75,774	24.4	10,019	33.7	9,959	33.0	6,858	31.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 6,426百万円 (13.9%) 30年3月期第1四半期 7,470百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	23.00	22.93
30年3月期第1四半期	24.69	23.85

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	236,210	190,198	79.8
30年3月期	243,492	186,719	76.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 188,584百万円 30年3月期 185,203百万円

平成31年3月期第1四半期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		11.52		11.08	22.60
31年3月期					
31年3月期(予想)		12.53		12.62	25.15

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	170,000	11.5	19,800	4.7	19,700	5.8	14,200	8.9	50.12
通期	361,000	15.3	39,700	13.9	39,500	13.9	28,500	11.3	100.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	283,489,777 株	30年3月期	283,439,597 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	129,536 株	30年3月期	129,536 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	283,336,506 株	30年3月期1Q	277,773,932 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済および日本経済は、通商問題に対する影響などの不透明感はあるものの、全体として緩やかな景気回復の動きが続きました。アメリカにおいては、雇用者数、設備投資などが緩やかに増加するなど景気の回復傾向が継続し、アジア各国および欧州においても緩やかな景気回復が続きました。また、日本では設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。一方、これまで旺盛な設備投資が続いてきた中国ではインフラ投資の減速の動きが見られるとともに通商問題の先行きの影響が懸念されています。

このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。

こうした体制強化等により、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの需要を取り込み、VONA事業では品揃えの強化などによって国内において大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長しました。

こうした結果、連結売上高は854億2千8百万円（前年同期比12.7%増）となり、四半期決算として、過去最高の売上高を更新しました。利益面につきましては、成長加速に向けた投資が拡大し、営業利益は90億3千2百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は91億5千2百万円（前年同期比8.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は65億1千7百万円（前年同期比5.0%減）となり、四半期決算として過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。

#### ・報告セグメントの業績

##### ①FA事業

FA事業は、FA部品の確実短納期ニーズがグローバルに拡大する中、ミスミモデルを着実に浸透させ、自動車やエレクトロニクス関連業界などの自動化需要を積極的に取り込んだことなどにより、売上高は297億7千6百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は56億5千7百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

##### ②金型部品事業

金型部品事業は、アジアにおける販売活動は好調だったものの、主要顧客である自動車関連業界の需要減などにより、売上高は194億7千4百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は17億1千8百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

##### ③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。事業成長を支える品揃え拡大は今期も継続し、当第1四半期時点でグローバルでの取扱品目数は2,460万点に達しました。こうした取り組みや積極的な販売拡大施策の展開により、売上高は361億7千7百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益については、国内および海外事業の拡大に向けた先行費用増などにより、16億4千4百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ72億8千1百万円減少し、2,362億1千万円となりました。この主な要因は現金及び預金が124億5千5百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が11億9千9百万円増加したこと、商品及び製品が10億8千万円増加したことなどにより流動資産が93億5千7百万円減少となりました。また、有形固定資産が19億2百万円増加したこと、無形固定資産が3億9千3百万円増加したこと、投資有価証券等の投資その他の資産が2億1千9百万円減少したことであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ107億6千万円減少し、460億1千1百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が5億8千6百万円減少したこと、未払金が51億2千7百万円減少したこと、未払法人税等が21億8千4百万円減少したこと、賞与引当金が17億6百万円減少したことなどにより流動負債が109億4千万円減少し、また、固定負債が1億8千万円増加したことであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ34億7千8百万円増加し、1,901億9千8百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が33億7千8百万円増加したことなどにより株主資本が34億5千3百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が7千2百万円減少したことであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.1%から79.8%となりました。

なお、当連結会計年度より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）の適用による表示方法の変更を行いましたため、遡及修正後の数値で前年同期比較を行っております。

### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ125億4千4百万円減少し、391億6千8百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、26億3千5百万円の純支出となりました（前年同期は17億4千6百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が91億5千2百万円、減価償却費が20億9千3百万円、賞与引当金の減少額が17億2千3百万円、売上債権の増加額が38億6百万円、たな卸資産の増加額が16億7千4百万円、仕入債務の増加額が1億8千5百万円、未払金の減少額が29億3千1百万円、法人税等の支払額が42億4千万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、67億7千5百万円の純支出となりました（前年同期は44億6千2百万円の純収入）。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が61億4千万円、定期預金の預入による支出が248億5千8百万円、定期預金の払戻による収入が246億1千4百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億3千5百万円の純支出となりました（前年同期は24億9千5百万円の純支出）。この主な内訳は、配当金の支払額が31億3千9百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,502	53,047
受取手形及び売掛金	67,817	69,016
商品及び製品	33,208	34,289
仕掛品	1,771	2,344
原材料及び貯蔵品	6,301	6,467
その他	5,622	5,666
貸倒引当金	△319	△285
流動資産合計	179,904	170,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,649	9,533
機械装置及び運搬具（純額）	12,053	12,655
土地	3,728	3,730
その他（純額）	4,282	5,697
有形固定資産合計	29,714	31,616
無形固定資産		
ソフトウェア	17,057	16,973
その他	7,529	8,007
無形固定資産合計	24,587	24,980
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	9,467	9,252
貸倒引当金	△187	△192
投資その他の資産合計	9,285	9,065
固定資産合計	63,587	65,663
資産合計	243,492	236,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,524	18,938
1年内償還予定の新株予約権付社債	106	88
未払金	14,001	8,874
未払法人税等	4,494	2,310
賞与引当金	3,525	1,818
役員賞与引当金	261	23
その他	7,770	6,690
流動負債合計	49,684	38,743
固定負債		
退職給付に係る負債	4,878	5,052
その他	2,209	2,215
固定負債合計	7,087	7,268
負債合計	56,772	46,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,812	12,849
資本剰余金	23,201	23,238
利益剰余金	148,059	151,437
自己株式	△77	△77
株主資本合計	183,994	187,447
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,291	1,215
退職給付に係る調整累計額	△83	△79
その他の包括利益累計額合計	1,208	1,136
新株予約権	986	1,078
非支配株主持分	529	535
純資産合計	186,719	190,198
負債純資産合計	243,492	236,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	75,774	85,428
売上原価	43,442	48,927
売上総利益	32,332	36,500
販売費及び一般管理費	22,312	27,467
営業利益	10,019	9,032
営業外収益		
受取利息	50	55
保険返戻金	—	141
補助金収入	38	—
雑収入	84	89
営業外収益合計	173	286
営業外費用		
売上割引	19	22
為替差損	201	110
雑損失	12	34
営業外費用合計	233	166
経常利益	9,959	9,152
税金等調整前四半期純利益	9,959	9,152
法人税等	3,071	2,614
四半期純利益	6,888	6,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,858	6,517

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	6,888	6,537
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	581	△108
退職給付に係る調整額	3	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△6
その他の包括利益合計	582	△111
四半期包括利益	7,470	6,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,433	6,445
非支配株主に係る四半期包括利益	36	△18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,959	9,152
減価償却費	1,626	2,093
のれん償却額	431	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	151	179
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,037	△1,723
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117	△230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	△27
受取利息及び受取配当金	△57	△55
支払利息	1	0
株式報酬費用	111	140
為替差損益 (△は益)	56	△57
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△12
保険返戻金	—	△141
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,811	△3,806
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,306	△1,674
未収消費税等の増減額 (△は増加)	174	△420
仕入債務の増減額 (△は減少)	△750	185
未払金の増減額 (△は減少)	△1,000	△2,931
その他の資産の増減額 (△は増加)	△230	△374
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,021	969
小計	5,226	1,267
利息及び配当金の受取額	68	59
利息の支払額	△1	△0
保険金の受取額	—	141
法人税等の還付額	29	136
法人税等の支払額	△3,576	△4,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,746	△2,635
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,879	△6,140
固定資産の売却による収入	2	37
定期預金の預入による支出	△7,093	△24,858
定期預金の払戻による収入	14,588	24,614
敷金及び保証金の差入による支出	△163	△567
敷金及び保証金の回収による収入	57	100
その他	△50	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,462	△6,775
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	12	3
配当金の支払額	△2,507	△3,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,495	△3,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	215	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,928	△12,544
現金及び現金同等物の期首残高	47,840	51,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,769	39,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

重要な非資金取引の内容

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
新株予約権付社債の転換による 資本金増加額	3,961百万円	10百万円
新株予約権付社債の転換による 資本剰余金増加額	3,961百万円	10百万円
新株予約権付社債の転換による 新株予約権付社債減少額	7,923百万円	21百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,665	19,698	30,410	75,774	—	75,774
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	25,665	19,698	30,410	75,774	—	75,774
セグメント利益	5,272	1,666	3,236	10,174	△154	10,019

のれん等償却前セグメント利益※	5,272	2,252	3,236	10,761	△154	10,606
-----------------	-------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,174
調整額	△154
四半期連結損益計算書の営業利益	10,019

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,776	19,474	36,177	85,428	—	85,428
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	29,776	19,474	36,177	85,428	—	85,428
セグメント利益	5,657	1,718	1,644	9,020	12	9,032

のれん等償却前セグメント利益※	5,657	1,869	1,644	9,171	12	9,183
-----------------	-------	-------	-------	-------	----	-------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,020
調整額	12
四半期連結損益計算書の営業利益	9,032

(補足情報)

前第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
38,744	14,637	10,470	6,978	3,691	1,252	75,774

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,318	6,953	5,760	2,808	1,516	27,357

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	金型部品事業
当第1四半期 連結累計期間償却額	431
当第1四半期末残高	542

当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
42,743	15,951	14,275	6,850	4,352	1,253	85,428

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
12,290	7,516	7,000	2,640	2,169	31,616

2 のれんに関する報告セグメント別情報

該当事項はありません。